

# 1. 現状と課題

◆ この地区には観光客が多く訪れるようになりましたが、線路北側ではまちづくりが進んでおらず、課題も多く残されています。

## ● 交通上の課題

観光客の増加に対し歩行空間が不十分



踏切による交通渋滞事故の危険

南北市街地の分断



## ● 防災上の課題

耐火・耐震性能の低い建物が密集

狭隘な路地や行き止まり道路の存在



# 2. まちづくりの目標

◆ この地区におけるまちづくりの目標として、区では次のような計画を定めています。

## ● 押上・業平橋地区

まちづくりランドデザイン (H18年9月)



### 【機能再生ゾーンの基本的方針】

災害に強いまちづくりを推進するとともに、下町情緒を活かしながら日常生活空間を再生し、良好な環境を確保した複合市街地の形成を図ることとしています。

## ● 墨田区基本計画 (H23年12月)



誰もが安全・快適に暮らし、移動できるまちを目指し、東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）連続立体交差事業や周辺道路の整備に取り組むこととしています。

# 3. 目標に向けての取り組み（まちづくり整備方針案）

◆ この地区の現状と課題、まちづくりの目標を踏まえ、まちづくり整備方針案を作成しました。

## ① 鉄道の立体化

東武伊勢崎線を立体化し、踏切を除却します。

## ② 都市計画道路及び交通広場の整備

地区の骨格となる都市計画道路を整備します。

なお、交通広場については桜橋通りからのみの出入りとし、地区内の通り抜け交通を排除します。

## ③ 南北をつなぐ歩行者動線の整備

鉄道の立体化により、分断された南北の市街地をつなぐ歩行者道路を整備します。

## ④ まちの顔づくり

駅の玄関、まちの玄関として、広場等と一体となった「まちの顔」となる空間を整備します。

## ⑤ 駅周辺、鉄道周辺の賑わいの核づくり

高架下空間やその周辺において、商業やにぎわいのある空間を整備します。

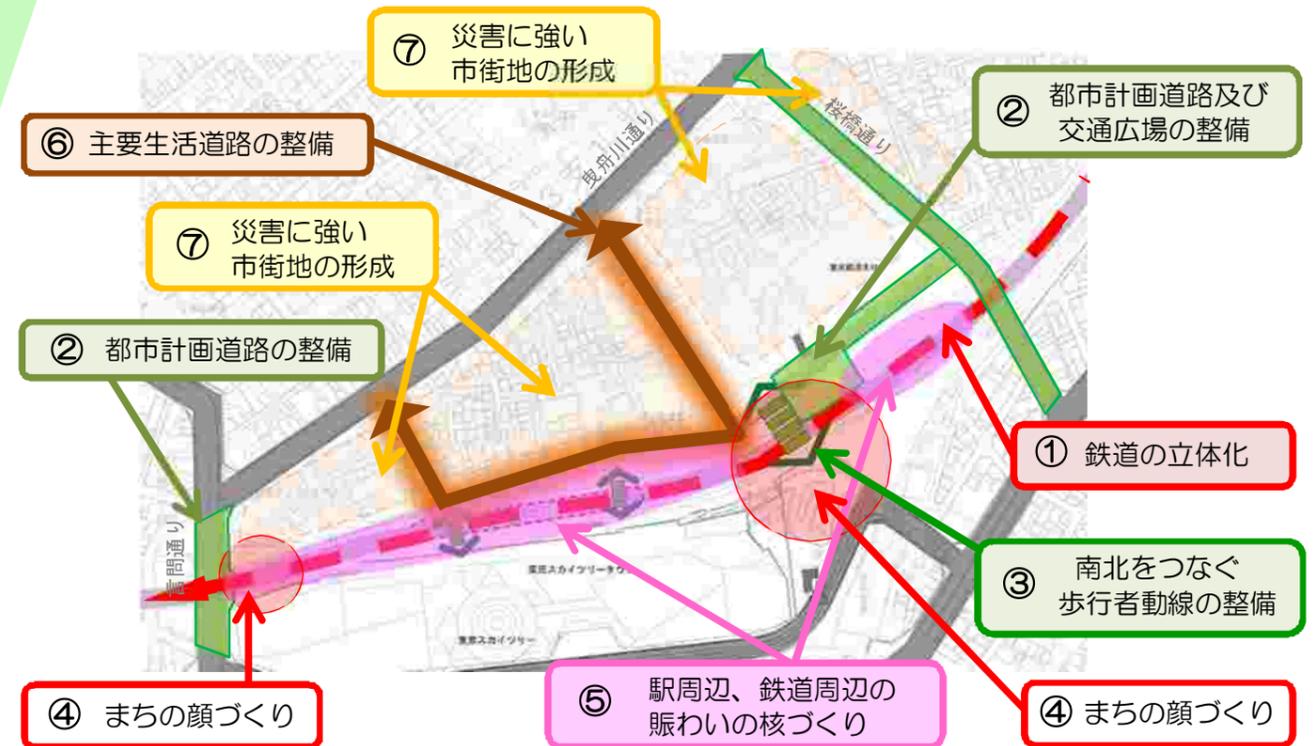


## ⑥ 主要生活道路の整備

発災時の避難路確保、安全な歩行者ネットワーク形成、沿道のまちなみ整備、回遊性の向上を目指します。

## ⑦ 災害に強い市街地の形成

不燃化・耐震化を促進し、住民の皆さんとともに防災性が高く、安全で安心して住みつけられるまちづくりに取り組みます。



## 4. これまでの経緯

- 平成 18 年 9 月 押上・業平橋地区まちづくりランドデザイン策定
- 平成 20 年 3 月 押上・業平橋駅周辺地区地区計画策定
- 平成 23 年 1 2 月 墨田区基本計画を改定
- 平成 24 年 3 月 東武伊勢崎線（曳舟～業平橋駅間）の連続立体交差事業が東京都の社会資本総合整備計画に位置付けられる
- 平成 26 年 6 月～ とうきょうスカイツリー駅周辺まちづくり勉強会
- 平成 26 年 1 1 月 押上二丁目地区不燃化特区制度説明会

## 5. 今後の進め方(予定)

年度	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
関連連続立体交差事業等の整備	都市計画手続き ●都市計画素案説明会 ●都市計画決定			(鉄道) 工事							
主要生活道路	まちづくり検討・主要生活道路検討		都市計画手続き ●都市計画決定		(道路) 鉄道工事の進捗に合わせ、順次事業化・工事					鉄道工事の進捗に合わせ、順次事業化・工事	

- ◆ まちづくりの骨格となる東武伊勢崎線の立体化と道路の整備については、平成 27 年度の都市計画決定を目指します。
- ◆ 主要生活道路や地区整備計画等については、まちづくり勉強会を通じて詳細な検討を進め、平成 29 年度の都市計画決定を目指します。



### ● お問い合わせ

墨田区 都市整備部立体化推進担当 拠点整備課

Tel03-5608-6262 fax03-5608-6409

## とうきょうスカイツリー駅周辺まちづくりについて



### ● はじめに

とうきょうスカイツリー駅周辺地区は、東京スカイツリーの開業以来、多くの観光客が訪れるようになりました。しかし、東武伊勢崎線北側の市街地には交通上、防災上の課題が多く残されています。

そこで区では、東武伊勢崎線の連続立体交差化計画とあわせてまちづくりを進めるため、この度、まちづくり整備方針案を作成しました。

このまちづくり整備方針案は、押上・業平橋駅周辺地区地区計画(H20.3)の区域のうち、機能再生ゾーンを対象としておりますが、今後は隣接する区域についてもあわせて検討していきます。



- 押上・業平橋駅周辺地区地区計画区域
- 機能再生ゾーン
- あわせてまちづくりを検討する区域